

SCSI & USB 2.0/1.1 CD-R/RWユニット

ユーザズマニュアル

LCW-BA52SU2

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
共通編	6
共通編：1 本製品の特徴	6
共通編：2 使用上のご注意	9
共通編：3 各部の名称	11
共通編：4 メディアのセット/取り出しについて	12
共通編：5 PC電源連動機能について	14
共通編：6 ハードウェア仕様	15
共通編：7 補足事項	16
SCSI 編	17
USB 編	43
ソフトウェアに関するお問い合わせについて	68

本書の使い方

本製品はSCSIインターフェース、USBインターフェースのどちらにも接続することができます。そのため、本マニュアルはSCSI編とUSB編に分かれています。最初に共通編をお読みになった後は、SCSI、もしくはUSBのうち、使用するインターフェースに対応した方をお読みください。

付属品の確認

CD-R/RWユニット	1台
SCSIケーブル (D-subハーフピッチ50ピン)	1本
USB ケーブル : シリーズA - mini-B (USB 2.0 High Speed対応)	1本
ACアダプタ	1個
縦置き用スタンド	1セット
横置き用ゴム足	1セット
「SoftwarePack」CD-ROM (以下のソフトウェア・ドライバ含む)	
「WinCDR Lite」	一式
「Logitech トレイコントローラ」	一式
「Toast 5 Lite」	一式
「Windows 98用USBドライバ」	一式
保証書	1枚
CD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

本製品に付属のドライバ、ソフトウェア類は、すべて共通のハイブリットCD-ROMで提供されているため、添付しているCD-ROMは「SoftwarePack」1枚だけです。



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。

機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。





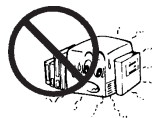
注意

本製品の稼動中に電源コード、ケーブル類を抜かないでください。
データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔(ファンはき出し口)はふさがないようにください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。
発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

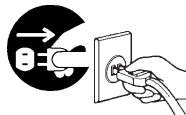
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換 / 保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください。



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。本書では本製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROMソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®・Celeron®は米国Intel社の登録商標です。Superlink™は、MediaTek Incorporationの登録商標です。WinCDRは株式会社アブリックスの商標です。Toast®の名称及びロゴは米ロキソ社の商標です。。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

共通編

共通編：1 本製品の特徴

- ・本製品は Ultra SCSI、USB2.0/1.1 に対応した CD-R/RW ユニットです。USB 2.0 接続時には CD-R メディアへの最大 52 倍速書き込みに対応しています。(SCSI 接続時は最大で 40 倍速となります)
また、Ultra Speed + タイプの CD-RW メディアにも対応しておりますので、最大 32 倍速での CD-RW メディアの書き換えを行うことができます。
- ・PC 電源連動機能を搭載しているため、パソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源の ON/OFF を自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源が OFF になり、復帰時に ON となります。
- ・Windows と Macintosh の両 OS に対応し () ています。
USB 接続の場合、Mac OS 9.2.2 以前の環境では本製品を使用することができません。
SCSI 接続にてご使用ください。
- ・CD-R/CD-RW メディア書き込みの際のバッファアンダーランエラーを防止する SuperLink™ 機能を搭載していますので、高速書き込み時も安定して書き込みを行います。
- ・ライティングソフトウェアには Windows 用としてアプリックス社製の「WinCDR Lite」と、Macintosh 用としてロキシオ社製の「Toast 5 Lite」を付属しています。「WinCDR Lite」は Windows 環境で CD-R/RW の書き込みの際に使用頻度の高い「バックアップ機能」「ISO 9660 (データ) 書き込み」「オーディオ CD 書き込み」の機能を提供しています。
「Toast Lite」は Macintosh 環境で、Mac OS X、Mac OS 9 の両 OS に対応しています。HFS/HFS+ やオーディオ CD の書き込みはもちろん、OS 標準の書き込み機能ではできない「ハイブリッド CD 作成」や「追記書き込み」が可能です。CD 書き込み中でも他のソフトウェアを使った作業が可能な「バックグラウンドレコーディング」にも対応しています。
- ・Windows XP では「エクスプローラ上での書き込み」「Windows Media Player 上からの書き込み」に対応しています。「エクスプローラ上からの書き込み」では CD-R、CD-RW メディアに対してライティングソフトウェアを使用することなくファイルをコピーする感覚で、データ CD、オーディオ CD の書き込みが可能です。
- ・美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、安定したパフォーマンスを実現しています。



重要なご注意

- ・ ご使用のパソコンによっては、PC電源連動機能が正常に機能しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチでON/OFFを切り替えてご使用ください。
 - ・ PCカードタイプのSCSIインターフェースをご使用の場合はPC電源連動機能をご使用になれません。また、ご使用のSCSIインターフェースボードの仕様によってはPC電源連動機能が機能しない場合があります。そのような場合は本製品の電源スイッチをONにしてご使用ください。
 - ・ スタンバイ状態から復帰する時にシステムが不安定になるような場合は、パソコンのスタンバイ（省電力）機能をOFFに設定してください。
 - ・ 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能により、本製品の電源がON/OFFを繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
 - ・ 本製品をSCSIインターフェース、USBインターフェースの両方同時に接続することはできません。
 - ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず付属のACアダプタをAC100Vのコンセントに接続して電源を供給してください。
 - ・ 付属のACアダプタは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。
-



参考

アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。

対応する書き込み方式

「Disc at once」	量産 CD-ROM のプレマスタ作成を行う場合などに使用します。
「Track at once」	追記書き込みを可能にします。
「Session at once」	付属ライティングソフトウェアで「Enhanced CD」のバックアップを行う場合等に使用します。
「Packet Write」	擬似的なランダムアクセスを可能にします。(本製品には Packet Write を使用するソフトウェアは付属していません。)

WinCDR Lite では、ISO9660 は「Track at once」、AudioCD は「Disc at once」と規格により書き込み方式が固定されます。

Toast Lite では、「Disc at once」「Track at once」のみ対応しています。

書き込み・読み込み速度について

本製品では各メディアに対して、以下の書き込み・読み込みが可能です。

書き込み	CD- R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD- RW	Ultra Speed +	32 倍速、24 倍速、20 倍速 16 倍速、10 倍速
		Ultra Speed	24 倍速、20 倍速、16 倍速 10 倍速
		High Speed	12 倍速、10 倍速
		Muti Speed	4 倍速
読み込み	CD- ROM	最大52倍速	
	CD- R CD- RW	最大40倍速	

CD-R メディアで 52 倍速、48 倍速書き込みを行う場合は、48 倍速対応のメディアをご使用ください。

USB 1.1 接続時には書き込み読み込みともに最大 8 倍相当となります。

SCSI 接続時には CD-R メディアの書き込み、CD-ROM メディアの読み込みは、最大 40 倍速相当となります。

特色

- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 約 1,000 回までの書き換えが可能なメディアです。

共通編：2 使用上のご注意

設置の際は...

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)
水平・垂直方向にて設置してください。(次ページの設置方向についてをご参照ください)

移動・輸送の際は...

本製品を移動するときは、ディスクを取り出しトレイを閉じた後、必ず本製品の電源をお切りください。
本製品を移動や輸送するときは、落としたり、ぶついたりしないでください。

ご使用の際は...

トレイを出したまま放置しないでください。(内部にホコリが入り、故障の原因となります)
トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)
本製品を縦置きで設置した場合は8cmディスクは使用しないでください。
無理にトレイ部分を開けないでください。(故障の原因になります)
本製品に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)
本製品が結露した状態では使用しないでください。
(寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着(結露)し、誤動作、故障の原因になります)
隣接しているテレビやラジオに雑音が入るときは、2m以上離すか、コンセントを別にしてみてください。

レンズやメディアのお手入れの際は...

長期間使用すると、本製品のレンズやメディア側にほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。
使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本製品表面のお手入れの際は...

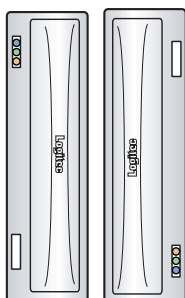
汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

メディア読み込み時のご注意

偏重心、ソリ、キズ、変形など異常なメディアを使用しないでください。最悪の場合、ドライブ内部でメディアが破損することがあり、危険です。

設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。



縦置きの場合

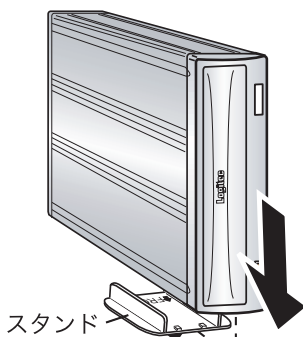
縦置きでご使用の場合、どちらの方向でも設置可能ですが、この場合は8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。



横置きの場合

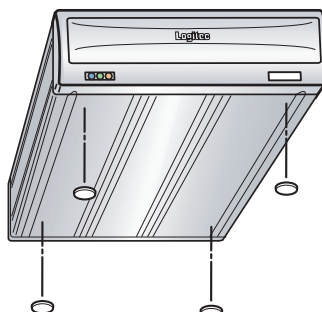
縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。(下左図)

横置きの場合は、底面の4箇所が付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



突起がある部分を前にしてください。

先の部分から約3cm程の所に設置すると安定します。



ゴム足

共通編：3 各部の名称

本製品前面



シャッター

メディアをセットするトレイが格納されています。

イジェクトボタン

トレイの出し入れに使用します。

電源表示ランプ（左側）

本製品の電源がONになると青色に点灯します。

転送モード識別表示ランプ（中央）

Ultra SCSIおよび、USB 2.0 接続時は緑色に、USB 1.1 接続時はオレンジ色にそれぞれ点灯します。

アクセス表示ランプ（右側）

：メディア読み込み時は緑色に、書き込み時はオレンジ色に点灯・点滅します。

本製品背面

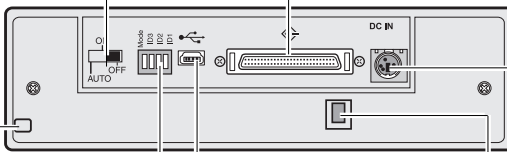
電源スイッチ

以下のように本製品の電源入力を切り替えます。

- ・AUTO... 接続先のパソコンの電源状態に連動してONとOFFを自動的に切替えます。(PC電源連動機能)
- ・ON ... 電源が常にONになります。
- ・OFF ... 電源が常にOFFになります。

SCSI コネクタ

本製品をSCSI接続する場合に、パソコン本体のSCSIインターフェースと接続します。



DC コネクタ

付属のACアダプタのDCケーブルを接続します。

使用しません

ディップスイッチ

本製品をSCSI接続する場合に、本製品のSCSI IDナンバーの設定を行ないます。また、SCSI接続時に正常に動作しない場合にも使用します。詳しくはSCSI 編 第2章「2.2 接続方法」をご参照ください。

USB mini-B コネクタ

付属のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続します。

盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤなどを取り付けしておくことができます。

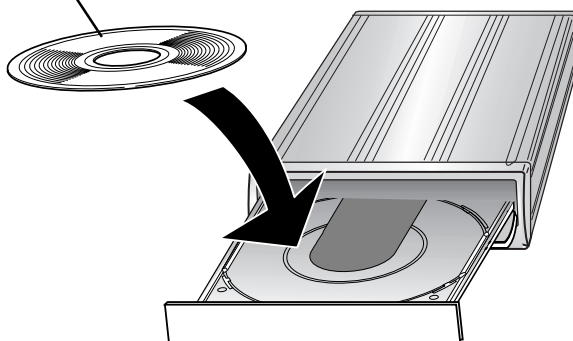
共通編：4 メディアのセット / 取り出しについて

メディアのセット方法

メディアをセットする時は、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

タイトル面を上にしします。



メディアを取り出す際は、同様の手順でトレイを排出するか、ご使用の環境により、以下の手順で取り外してください。

Windows 環境の場合

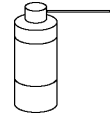
マイコンピュータ上で本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を選択します。

Macintosh 環境の場合

デスクトップ上にマウントされている本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップするか、アイコンを選択して「アップル」キー+「E」キーを押します。

! ご注意

- ・ 本製品はトレイ排出時、はじめに勢い良く1/2程度排出され、その後ゆっくりになります。これは本製品の仕様です。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
- ・ メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・ メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・ トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

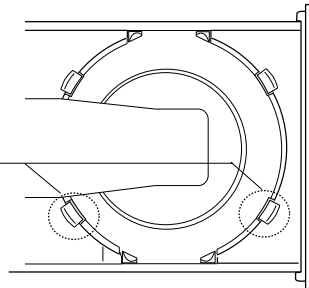


ダストクリーナ

! 縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦方向で設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

! ご注意

- ・ セットしたメディア内のファイルが開いている状態では、トレイを排出することはできません。

共通編：5 PC電源連動機能について

本製品はPC電源機能を搭載していますので、接続先のパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFが切り替わるようになっています。いったん本製品の電源を「AUTO」にしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源もON/OFFされませ

ず。
本製品のON/OFFは下表のように切り替わります。

動作	電源スイッチ		
	AUTO時	ON時	OFF時
起動中のパソコンに接続した時 *1	ON	常にON	常にOFF
接続先のパソコンの電源をONにした時	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき	ON		
USBケーブルまたはSCSIケーブルを外した時	OFF		
パソコンがシャットダウンした時	OFF		
パソコンが、スリープや省電力モードになった時	OFF *2		

*1 SCSI接続時は、起動中のパソコンに接続しても本製品は認識されず、電源も自動的にOFFになります。

*2 SCSI接続時は「ON」となります。



ご注意

- ・PCカードタイプのSCSIインターフェースをご使用の場合はPC電源連動機能をご使用になれません。また、ご使用のSCSIインターフェースボードの仕様によってはPC電源連動機能が機能しない場合があります。そのような場合は本製品の電源スイッチをONにしてご使用ください。
 - ・スタンバイ状態から復帰する時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）機能をOFFに設定してください。
 - ・SCSI接続時に複数の機器をデジチェーンにて接続している場合は、PC電源連動機能が働かない場合があります。
-

共通編：6 ハードウェア仕様

機種名		LCW - BA52SU2	
ドライブメーカー		BEHAVIOR TECH COMPUTER CORP. (BTC)	
設定可能な書き込み速度 ^{*1}	CD - R ^{*2}	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD - RW	32倍速 / 24倍速 / 20倍速 / 16 倍速 12倍速 / 10倍速 / 4 倍速	
読み込み速度 ^{*1}	CD-ROM ^{*2}	最大 52 倍速	
	CD - R CD - RW	最大 40 倍速	
インターフェース ^{*3}		Ultra SCSI USB 2.0 High- Speed (USB 1.1互換)	
コネクタ形状		D- sub ハーフピッチ 50 ピン × 1 USB mini- B コネクタ × 1	
ローディング方式		トレイ方式	
バッファメモリ		2MB	
平均アクセスタイム		90 ms	
最大データ ^{*4} 転送速度 (IF)	Ultra SCSI	同期 20MB / s	
	USB	480Mbps (High- Speed) 12Mbps (Full- Speed)	
メディアとの最大データ転送速度 ^{*4}		7800KB / s	
環境条件 ^{*5}	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 70%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
入力電圧		AC100 V ± 10% 50 / 60 Hz	
消費電力		23 W	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行き	158 × 50 × 257 mm ^{*6}	
質量		1.9 kg	
設置方向		水平 / 垂直	

*1 USB 1.1 接続時は最大 8 倍速。

*2 SCSI 接続時は最大 40 倍速。

*3 通常はケーブルの接続を検出して自動切換え。強制 SCSI 設定時は解除しなければ USB 接続はできません。

*4 理論値。

*5 ただし、結露なきこと。

*6 横置き時、突起部を除く。

共通編：7 補足事項

Logitech トレイコントローラについて

(Windows 環境のみ)

本製品を Windows 環境でご使用の場合、付属の「SoftwarePack」CD-ROM より「Logitech トレイコントローラ」をインストールして使用することができます。「Logitech トレイコントローラ」の主な特徴とインストール方法は以下のとおりです。

特徴

- ・PC 電源連動機能付きの DVD/CD ユニットの、ディスクの取り忘れを防ぎます。
- ・キーボードのキーを割り当てることにより、手元から DVD/CD ユニットのトレイを出し入れできます。

インストール方法

付属の「SoftwarePack」CD-ROM を CD-ROM トレイにセットしてください。

自動的にセットアップランチャーが起動し、右の画面が表示されますので、「Logitech トレイコントローラ」ボタンをクリックしてください。

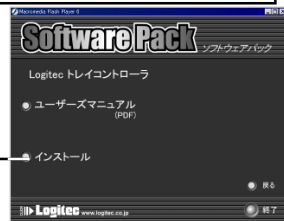
クリック



上の画面が表示されない場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:*\start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(「Q:」は「SoftwarePack」の CD-ROM がセットされた CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。)

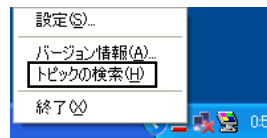
右の画面が表示されますので、インストールボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従い、インストールを実行してください。

「インストール」ボタンをクリック



使い方について

Logitech トレイコントローラの使用方法は、セットアップランチャーの「ユーザーズマニュアル (PDF)」ボタンをクリックするか、インストール後に、ウィンドウ右下のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「トピックの検索」を実行してください。



Logitech トレイコントローラのアイコン



SCSI 編

目次

第 1 章	はじめに	19
1.1	SCSI 接続時の制限事項について	19
第 2 章	使えるようになるまで	20
2.1	ライティングソフトウェアのインストール	20
2.1.1	Windows 環境の場合	20
2.1.2	Macintosh 環境の場合	22
2.2	接続方法	24
2.2.1	SCSI ID ナンバーの設定	24
2.2.2	接続の手順	26
2.3	接続/インストール結果の確認	29
2.3.1	Windows 環境の場合	29
2.3.2	Macintosh 環境の場合	30
2.4	補足事項	31
2.5	Windows XP で直接書き込みを行う場合	33
第 3 章	補足事項	34
3.1	トラブルシューティング	34
3.2	使用環境について	36
3.2.1	パソコン本体 (デスクトップ/タワー)	36
3.2.2	対応 OS	37
3.2.3	SCSI インターフェース	37
3.2.4	CD-R/RW メディア	38
3.3	ノートパソコンでの使用について	39
3.3.1	Windows 環境の場合	39
3.3.2	Macintosh 環境の場合	41
3.4	オプション品について	42

第1章 はじめに

1.1 SCSI 接続時の制限事項について

本製品を SCSI 接続でご使用の場合、以下のような制限事項があります。

- ・本製品を SCSI 接続でご使用の場合は、CD-R の書き込み、CD-ROM ・ CD-R の読み込みは最大 40 倍速相当に制限されます。
- ・ SCSI 接続の場合、本製品をホットプラグ（電源 ON の状態での接続 / 取り外し）することはできません。本製品の接続 / 取り外し時には必ずパソコンの電源を OFF にしてください。
- ・本製品に SCSI ケーブル、USB ケーブルの両方を同時に接続することは避けてください。（SCSI 接続時には USB ケーブルを外してください。）
- ・本製品には SCSI コネクタが 1 つしか搭載されていないので、複数の機器と併用する場合は、必ず終端の位置にセットし、他の SCSI 機器のターミネータはすべて無効としておいてください（本製品のターミネータは、常に ON 設定になっております）。
- ・複数の SCSI 機器をデージーチェーン接続して使用している場合は、本製品の PC 電源連動機能が働かない場合があります。
その他、接続時の注意事項などは第 2 章以降でご説明しておりますので、接続の際は必ずご参照ください。

第2章 使えるようになるまで

本章では、本製品の接続と、ライティングソフトウェアのインストール手順についてご説明いたします。

2.1 ライティングソフトウェアのインストール

本製品をSCSI接続で使用する場合、はじめにライティングソフトウェアをインストールしてください。

2.1.1 Windows 環境の場合

Windows 環境の場合、以下の説明を参照して「WinCDR Lite」をインストールしてください。

インストール方法

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。

自動的にセットアップランチャーが起動しますので「WinCDR Lite」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、セットアップランチャーが表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(「Q:」は「SoftwarePack」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。)

右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



このボタンをクリック

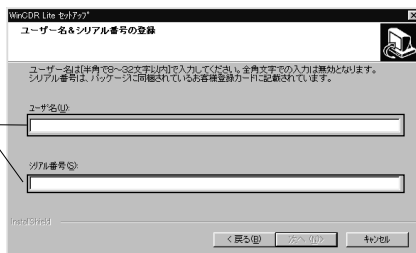
自動的にセットアップウィザードが起動します。この後は画面の指示に従いインストールを実行してください。インストール後、本製品の接続を行います。「2.2 接続方法」をご参照ください。

Point

ポイント

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザー名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザー名とシリアル番号をそれぞれ入力します。



- ・ユーザー名は半角で8文字から32文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号（株式会社アプリックスのお客様登録カードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDR Lite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

WinCDR LiteのユーザーガイドはPDFファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDFファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「サポート」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

2.1.2 Macintosh 環境の場合

Macintosh環境では本製品を接続する前に必ず以下の手順で付属のライティングソフトウェア「Toast Lite」をインストールしてください。

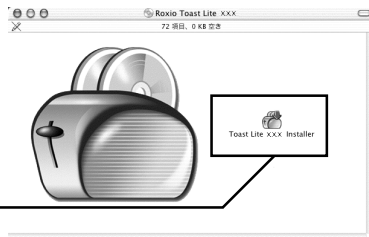
インストール方法

Macintoshのシステムを起動して、CD-ROMドライブに本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをセットしてください。

デスクトップにマウントされたCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。

右の画面が表示されます。
「Toast Lite x.x.x Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブルクリック



x.x.x.の部分にはソフトウェアのバージョンが表示されます。

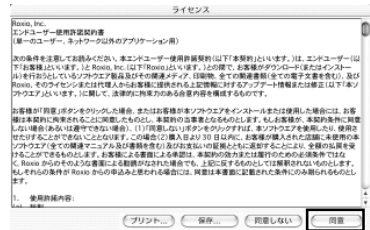
右の画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



「続ける」をクリック

このインストールプログラムは、MacVisionソフトウェアの Installer VISE で作成されました。

「使用権許諾契約書」の画面が表示されます。内容を良くご確認の上、「同意」ボタンをクリックしてください。



内容を確認し、同意する場合は
「同意」をクリック

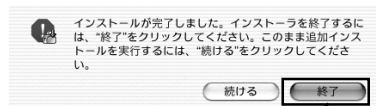
ここで「同意しない」をクリックするとインストールが中止されます。

右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」をクリック

インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。



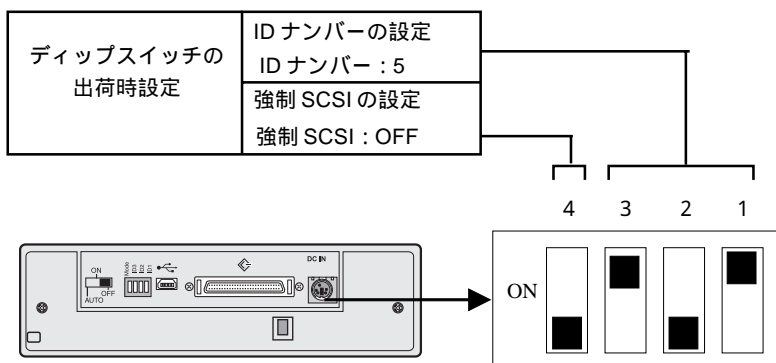
「終了」をクリック

以上で「Toast Lite」のインストールは終了です。「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「2.2 接続方法」をご参照ください。

2.2 接続方法

2.2.1 SCSI ID ナンバーの設定








パソコンとの接続を行なう前に、本製品背面のディップスイッチにて SCSI ID ナンバーの確認 / 設定を行なってください。



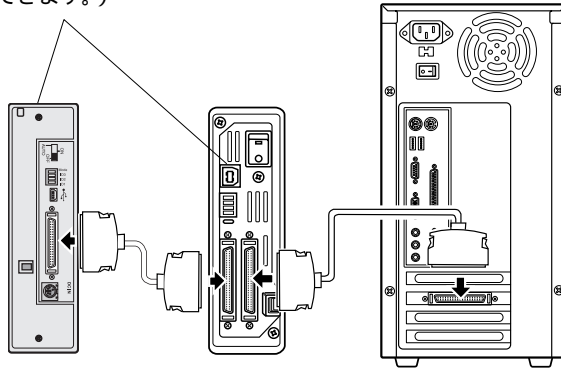
「ID ナンバー」は SCSI 機器を区別するための番号です。「0」～「6」の範囲で任意の番号に設定できますが、併用する SCSI 機器と重複があってはなりません。(例えば、同じ SCSI インターフェースに ID ナンバー「5」に設定した機器が 2 台接続されてはいけません。どちらかを別の番号にする必要があります。)

「強制 SCSI」は SCSI 接続時にパソコン側から認識されない場合に使用します。設定方法については 28 ページのポイントをご参照ください。

本製品は出荷時設定で SCSI ID 「5」 に設定されています。本製品の他に併用する機器がない場合は出荷時設定から変更する必要はありません。次の「接続の手順」へお進みください。複数の SCSI 機器を併用される場合は、以下をご参照の上、必要に応じて SCSI ID ナンバーを変更してください。

IDナンバー：0	IDナンバー：1	IDナンバー：2	IDナンバー：3
ON  3 2 1	ON  3 2 1	ON  3 2 1	ON  3 2 1
IDナンバー：4	IDナンバー：5	IDナンバー：6	
ON  3 2 1	ON  3 2 1	ON  3 2 1	

必ず異なる ID ナンバーに設定します。(重複がなければ 0 ~ 6 の範囲で好きな番号に設定できます。)



ポイント

Point

- ・本製品は SCSI コネクタが1つしかないため、複数の SCSI 機器を接続する場合、終端にしか接続できません。
- ・本製品の内蔵ターミネータは常に ON となっています。複数の SCSI 機器を接続する場合、本製品以外は OFF に設定してご使用ください。

2.2.2 接続の手順

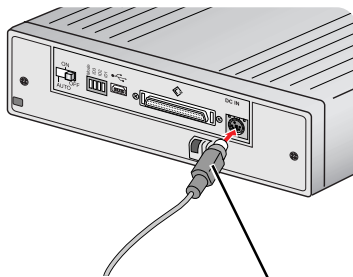
説明に使用しているパソコンの図は DOS/V パソコンを元にしていますが、基本的な接続方法はその他のパソコンでも同じです。



重要なご注意

- ・接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源を OFF にしてください。
また、SCSI インターフェイスボードを新規接続する場合は、あらかじめ SCSI インターフェイスボードのマニュアルを参照して接続しておいてください。
ご使用のパソコンに搭載されている SCSI コネクタが D-sub ハーフピッチ 50 ピンと異なる場合は、別売の変換ケーブルが必要になります。
変換ケーブルについては「3.4 オプション品について」をご参照ください。
- ・本製品の SCSI コネクタは接点にピンを使用しています。そのため、ケーブルのコネクタを斜めに差し込んだり、無理に力を加えるとピンが曲がってしまいます。また、本製品で使用する D-sub ハーフピッチ 50 ピンの SCSI ケーブルを、アンフェノールハーフピッチ 50 ピンの SCSI コネクタに接続しようとするともピンが曲がってしまいます。
ケーブル接続時は SCSI コネクタの種類と方向を確認して、正面から接続してください。接続しにくい場合は、無理に力を加えないでピンが曲がっていないかどうか確認してください。

本製品背面の DC コネクタに付属の AC アダプタを接続してください。

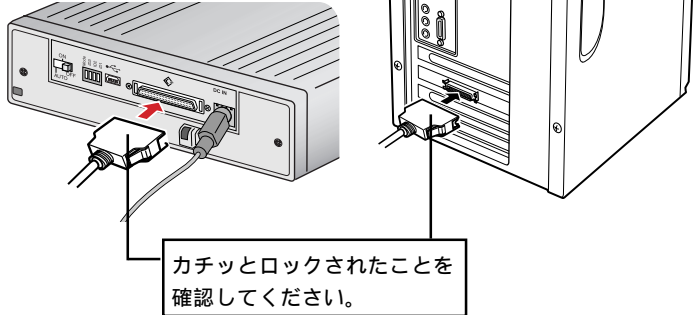


DC コネクタと接続

本製品に付属のケーブルで SCSI インターフェイスと本製品の SCSI コネクタを接続します。

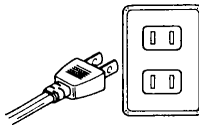
本製品側

パソコン側

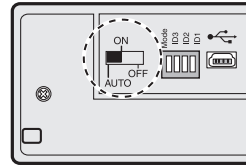


2

本製品に接続した AC アダプタの電源プラグを AC100V のコンセントに接続し、電源を「AUTO」または「ON」に設定してください。

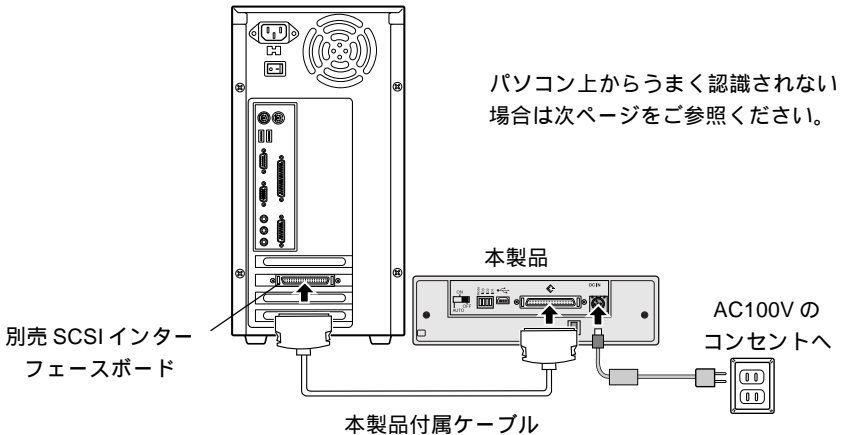


AC100V のコンセントへ



「AUTO」または「ON」へ

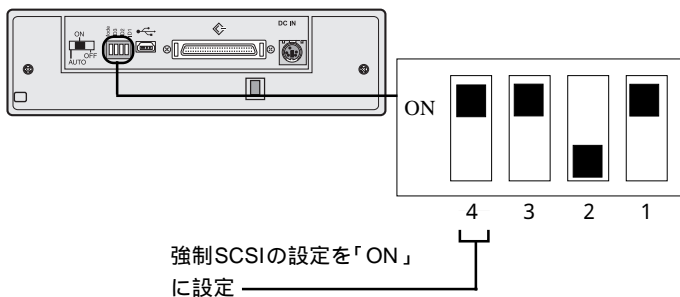
以上で接続は終了です。下の接続図と比べて、間違っていないかどうかを確認してください。



Point

ポイント

本製品がSCSI機器として認識されない場合は、本製品背面のディップスイッチ4（強制SCSI）を「ON」にしてご使用ください。



設定を変更する場合は、いったん本製品とパソコンの電源をOFFにしてから行なってください。

USB接続でご使用になる場合は、必ずディップスイッチ4（強制SCSI）を「OFF」に戻しておいてください。「ON」のままではUSB接続時に認識されなくなります。

!

ご注意

- ・ 接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・ 電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンを起動した場合、本製品の電源が数回切れる場合があります。これはPC電源連動機能によって発生する現象ですので、問題はありません。



参考

転送モード識別表示ランプによって、認識されている転送モードを確認することができます。

- ・ 高速転送モード (SCSI、USB 2.0 High-Speed)
接続時 : 緑色
- ・ 低速転送モード (USB 1.1 Full-Speed)
接続時 : オレンジ色

2 . 3 接続 / インストール結果の確認

2 . 3 . 1 Windows 環境の場合

接続が完了したら、本製品 パソコン本体の順に電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

SCSI インターフェイスボードを新規接続した場合は、Windows のシステム起動が完了する前に、プラグ & プレイで SCSI インターフェイスボードが認識され、ドライバのインストール作業に入ります。SCSI インターフェイスボードのマニュアルにしたがってインストール作業を行ってください。

Windows のシステム起動が完了したら、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。すべての作業に問題がなければ、本製品が CD-ROM ドライブとして認識され、新しい CD-ROM のアイコンが登録されているはずです。

もし、本製品が CD-ROM ドライブとして認識されていない場合は、第3章「3 . 1 トラブルシューティング」にしたがってチェックを行ってください。

2 . 3 . 2 Macintosh 環境の場合

接続が完了したら、本製品 パソコン本体の順に電源を ON にして、Macintosh のシステムを起動してください。

Macintosh のシステム起動が完了したら、「2 . 1 ライティングソフトウェアのインストール」でインストールしたライティング・ソフトウェア「Toast Lite」を起動して、メニューバーの「レコーダ」から「レコーダ情報」を選択し、「レコーダ情報」ウィンドウで本製品が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、ポップアップメニューの一覧から本製品の型番を選択します。

本製品の型番は「BTC BCE5232IM」になります。

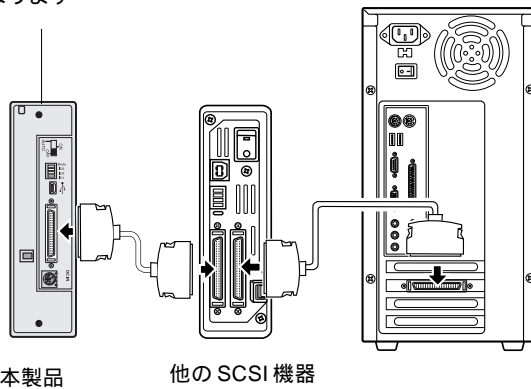
確認が完了したら、作業は終了です。これで Toast Lite 上から CD-R/CD-RW メディアの書き込みを行うことができる状態になりました。書き込み方法については「Toast Lite」のマニュアルをご参照ください。

2.4 補足事項

他の SCSI 機器との併用について

SCSI 規格では、複数の SCSI 機器を数珠つなぎにして1つの SCSI インターフェイスに接続することができます。ただし、本製品には SCSI コネクタが1つしかないため、本製品を他の SCSI 機器と併用する場合は、必ず終端の位置に来るように接続してください。接続の際は、次ページの注意事項にご注意ください。

本製品が必ず終端の位置
になります



注意事項

- ・接続台数は原則的に以下の通りです。詳細についてはSCSI インターフェイスボードのマニュアルをご参照ください。

UltraSCSI の場合	3 台まで
FastSCSI の場合	7 台まで

- ・ケーブル長は内蔵ケーブルも含むすべての合計が3m以下でなければなりません（ケーブルは短ければ短いほど動作が安定します）。
- ・ID ナンバーは必ず重複しないように設定してください。
- ・中間の位置にあるSCSI機器のターミネータは全て無効としてください。



ご注意

必要以上に多くのターミネータが有効になっていると、過電流で機器を損傷する場合があります。

本製品の取り外しについて

SCSI接続の機器は、パソコンの電源がONの時に取り外しを行なってはいけません。本製品をSCSI接続でご使用の場合、本製品を取り外す前に、**必ずパソコンの電源をOFFにしておいてください。**

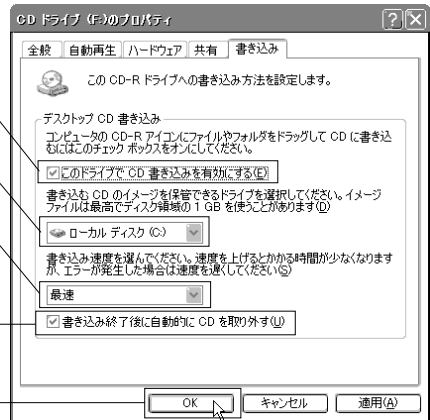
2.5 Windows XP で直接書き込みを行う場合

Windows XP で、ライティングソフトウェアを使用しないで直接 CD-R/RW へ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CD イメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 1.、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。
2. CD イメージの保管先を指定します。
3. 書き込み速度を選択します。
4. 必要に応じてチェックを入れます。
5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

3.1 トラブルシューティング

本製品を接続するとシステムが起動しない。

- ・本製品のIDナンバーが、併用している他のSCSI機器と重複していないかどうかを確認してください。

本製品がCD-ROMドライブとして認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。
- ・Windowsパソコンの場合、接続に使用しているSCSIインターフェースのドライバはインストールされていますか？ また、「デバイスマネージャ」を起動して、SCSIインターフェースが認識されているかどうか、「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。（Windows Me, 98で「デバイスマネージャ」を起動するには、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。Windows XP, 2000の場合は、「コントロールパネル」(「パフォーマンスとメンテナンス」Windows XPのみ) 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。）
- ・Macintoshシリーズの場合、ライティング・ソフトウェアのインストールは完了していますか？ 本製品がCD-ROMドライブとして使用できるのは、ライティング・ソフトウェアをインストールからです。
- ・背面の強制SCSIスイッチをONにして試してみてください。それでも認識されない場合は、電源スイッチを「AUTO」ではなく、「ON」にしてお試しください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・本製品のIDナンバーが併用している他のSCSI機器と重複していないかどうかを確認してください。
- ・ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- ・「共通編：4 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

CD-R/RWメディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・ターミネータは終端となるSCSI機器（パソコン本体から一番遠いSCSI機器）に正しく接続されていますか？
- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「3.2 使用環境について」および「3.3 ノートパソコンでの使用について」をご参照ください。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアメーカー各社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

ロキシオ・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<http://www.roxio.co.jp/>

3.2 使用環境について

CD-R/RWユニットを使用する上で、安定した書き込みを行うことができるシステム環境（高速なパソコン本体とSCSIインターフェース、高品質なCD-R/RWメディアなど）で使用することは非常に重要です。

本節ではCD-R/RWユニットを使用する場合に必要なシステム環境の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下でCD-R/RWユニットをご使用ください。

3.2.1 パソコン本体（デスクトップ/タワー）

本製品をデスクトップ型、もしくはタワー型のパソコン本体に接続して使用する場合、パソコン本体は以下の機種に制限されます。ノート型のパソコン本体については、「3.3 ノートパソコンでの使用について」をご参照ください。

Windows 環境の場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

全てCeleron® 300MHz以上のCPUを搭載し、SCSIインターフェースを標準装備しているか、拡張可能な機種に限ります。

Macintosh 環境の場合

アップルコンピュータ社	Macintosh シリーズ
-------------	----------------

全てPowerPCをCPUとして搭載し、PCIバスを持つ機種。SCSIインターフェースを標準装備しているか、拡張可能な機種に限ります。CPU換装を行っている場合、動作保証いたしかねます。



ご注意

Macintosh本体に標準搭載されているSCSIコネクタに本製品を接続すると、本製品本来のパフォーマンスが発揮できません。PCIバス用のUltra SCSIインターフェース（「3.2.3 SCSIインターフェース」参照）をご使用ください。



ご注意

・当社DOS/V対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーのDOS/Vパソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全てのDOS/Vパソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。

(*1)OADGは「PCオープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

・本製品は日本電気株式会社PC-9800シリーズでは使用できません。
 ・最新の情報につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

3.2.2 対応OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用できません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 2000 Professional

Windows NT 4.0 (Service Pack 4以降)

アップルコンピュータ社

Mac OS 9.1 ~ 9.2.2

Mac OS X 10.2 ~ 10.2.6

3.2.3 SCSI インターフェース

SCSIインターフェースを内蔵していないパソコンでは、SCSIインターフェースボードが別途必要になります。SCSIインターフェースボードは、弊社から発売されている以下の型番のものを推奨します。

SCSIインターフェース	バス	仕様	SCSIコネクタ
LHA-600S	PCI	UltraSCSI	D-subハーフピッチ50ピン

Point

ポイント

- ・前記 SCSI インターフェイスボードは、DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ、Macintosh シリーズ (Mac OS は 9.2.2 まで) で共通に使用することができます。
- ・上記 SCSI インターフェイスボードを使用して動作が不安定な場合は、最新のドライバをご使用ください。(弊社ホームページからダウンロード可能です)

3.2.4 CD-R/RW メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52 倍速 /48 倍速

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)

48 倍速以上に対応したメディアが必要です。

40 倍速以下

太陽誘電(株)「That's」 三井化学(株) 三菱化学(株)
(株)リコー

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株)

メディアに関する注意事項

CD-R/CD-RW メディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応した CD-R/CD-RW メディアをご使用ください。

CD-RW メディアには

「Ultra Speed + タイプ」

「Ultra Speed タイプ」

「High Speed タイプ」

「Multi Speed タイプ」

の4種類があります。使用するメディアのタイプにより、書き込み速度が異なります。必要な書き込み速度に対応した CD-RW メディアをご使用ください。詳細は8ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

3.3 ノートパソコンでの使用について

ノートパソコンはデスクトップ型/タワー型パソコンと仕様がまったく異なるため、独自の使用条件があります。そのため、ノートパソコンで本製品を使用するための条件と注意事項について、本節でまとめて説明します。

3.3.1 Windows 環境の場合

本製品をノートパソコン（DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ）で使用する場合は、以下の環境でご使用ください。

対応環境

パソコン： Celeron 300MHz 以上の CPU と CardBus 対応の PC カードスロットを搭載し、以下の弊社 SCSI インターフェース（PC カード）が動作するパソコン

SCSI インターフェース（PC カード）:

SCSI インターフェース (PCカード)	バス	仕様	SCSI コネクタ
LPM-SCSI3D	Cardbus	UltraSCSI	D-subハーフピッチ 50ピン
LPM-SCSI3EH			



ご注意

上記以外のPCカード型SCSIインターフェース(弊社製/他社製を含む)は動作保証できません。

OS : Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me ,
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

ライティングソフトウェア :
本製品付属のライティングソフトウェア



ご注意

Windows NT 4.0 は CardBus 対応の PC カードスロットをサポートしていないため使用できません。

注意事項

- ・ CD-R / CD-RW メディアの書き込み時は、本製品の接続に使用する SCSI インターフェースカード以外の PC カードを同時に使用しないでください。
- ・ SCSI インターフェースカード用のドライバは、最新のものをご使用ください。通常の場合、製品に添付されているドライバは最新のバージョンですので、SCSI インターフェースカード付属のマニュアルにしたがってインストールを行ってください。(OS に標準添付されているドライバは必ずしも最新バージョンではありません。)
また、バージョンアップ情報については、インターネット上の弊社ホームページ (<http://www.logitec.co.jp/>) をチェックするか、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- ・ パソコン本体は、必ず AC 電源アダプタを接続して使用してください。また、コントロールパネルのパワーマネジメントが機能しないように、切っておいてください。

3.3.2 Macintosh 環境の場合

Macintosh PowerBook シリーズでの対応機種は、以下の機種のみに限定されます。

PowerBook G3 300/14、266/14、233/14、292/14、250/13
233/13、233/12

PowerBook G3 (Bronze Keyboard)

PowerBook (FireWire)

PowerBook G4

接続には、以下の弊社SCSIインターフェース(PCカード)をご使用ください。これ以外のSCSIインターフェース(弊社製/他社製を含む)はサポートされません。

SCSIインターフェース (PC カード)	バス	仕様	SCSI コネクタ
LPM- SCSI 3 EH	Cardbus	UltraSCSI	D- sub ハーフピッチ 50 ピン

動作環境は、Mac OS 9.2.2 までとなります。

3 . 4 オプション品について

ケーブル	長さ	SCSI コネクタ
CB-51WW-003	0.3m	D-subハーフピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51WW-008	0.8m	
CB-51HW-003	0.3m	アンフェノールハーフピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HW-008	0.8m	
CB-2550D-005	0.5m	D-sub25ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HB-003	0.3m	アンフェノールフルピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HB-008	0.8m	

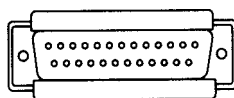
コネクタ形状



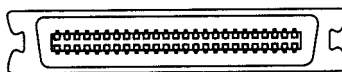
D-sub ハーフピッチ 50 ピン
(本製品のコネクタ形状)



アンフェノールハーフピッチ 50 ピン



D-sub 25 ピン



アンフェノールフルピッチ 50 ピン

オプション品や弊社製 SCSI インターフェース (ボード/カード) は、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

USB 編

目次

第1章	はじめに	45
1.1	USB 接続の概要	45
1.2	接続の前に	46
第2章	Windows 環境での接続とインストール	47
2.1	接続の手順	47
2.2	接続結果の確認	49
2.3	USB ドライバのインストール	50
2.4	ライティングソフトウェアのインストール	52
第3章	Macintosh 環境での接続とインストール	54
3.1	ライティングソフトウェアのインストール	54
3.2	接続の手順	56
3.3	接続/インストール結果の確認	58
第4章	補足事項	59
4.1	本製品の取り外しに関する注意事項	59
4.2	トラブルシューティング	61
4.3	デバイス上の登録名について	63
4.4	Windows XP で直接書き込みを行う場合	64
4.5	使用環境について	65

第1章 はじめに

1.1 USB 接続の概要

本製品を USB 接続する場合、以下のような特徴があります。

USB 2.0 インターフェース / USB 1.1 インターフェースのどちらにも接続して使用することができるため、汎用性が高く、多くのパソコン上で動作が可能です。

USB 2.0 インターフェースに接続した場合、従来の USB 1.1 規格と比較して最大で約 40 倍 (480Mbps / High-Speed) の高速転送が可能です。

ホットプラグによる接続、取り外しが可能です。

ご注意

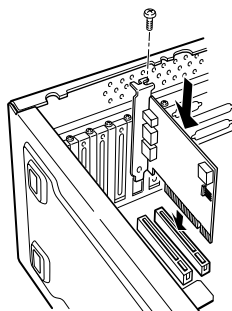
- ・ 本製品を USB 1.1 接続で使用する場合、書き込み / 読み込みの速度はすべて 8 倍速相当に制限されます。
- ・ 本製品への電源供給はセルフパワー (電源コードからの電源供給) でなければなりません。バスパワー (USB インターフェースからの電源供給) では使用できません。
- ・ 本製品に SCSI ケーブル、USB ケーブルの両方を同時に接続しないでください。(USB 接続時には SCSI ケーブルを外してください。)

1.2 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りのインターフェイスボード（PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。（その場合の書き込み / 読み込み速度は最大 8 倍速相当に制限されます。）



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA- USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows Mac OS X 10.2.8 以降対応
LHA- USB2/M	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2 以降対応

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2H	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3 以降対応
LPM- CBUSB2HA	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3 以降対応

第 2 章 Windows®環境での 接続とインストール

ここでは Windows 環境での本製品の接続と、ライティングソフトウェアのインストール方法についてご説明いたします。

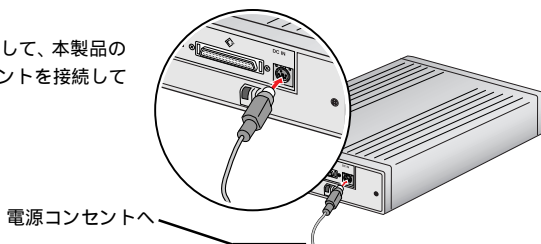
2 . 1 接続の手順

接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

この時、Windows XP , 2000 をご使用の場合は管理者権限のあるユーザーとしてログオンしてください(「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)。

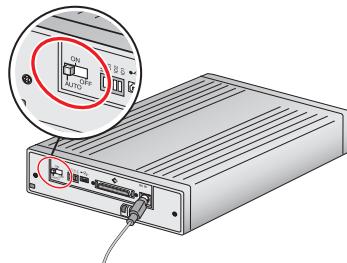
接続の手順

付属のACアダプタを使用して、本製品のDCコネクタと電源コンセントを接続してください。

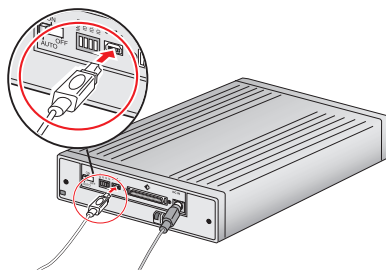


背面の電源スイッチを「AUTO」または「ON」に設定してください。

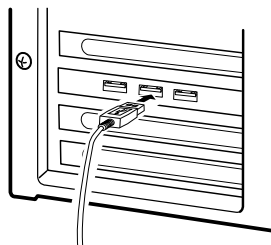
「AUTO」に設定するとPC電源連動機能が有効になります。




USBケーブルで本製品のUSBmini-Bコネクタと、パソコン本体のUSBポート(シリーズA)を接続してください。以上で接続は終了です。次ページの注意事項もご確認ください。



本製品側
小さいほうのコネクタ



パソコン側
大きいほうのコネクタ

 **ご注意**

- ・本製品を SCSI インターフェイス、USB インターフェイスの両方へ同時に接続することはできません。
- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源の ON/OFF を切り替えてください。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数の USB 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 High-Speed 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
USB 1.1 ポートへ接続し使用する場合もなるべく本製品付属のものか USB 2.0 High-Speed 対応ケーブルをご使用ください。
- ・本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 ポートへ接続してください。USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合 CD-R/CD-RW メディアへの書き込み・読み込み速度は最大 8 倍速相当となります。
- ・USB ハブを介しての接続はおやめください。正常に書き込み、読み込みができなくなります。
- ・強制 SCSI モードで使用していたときは、USB 接続で使用する前に、必ずディップスイッチ 4（強制 SCSI）を「OFF」に戻しておいてください。「ON」のままでは USB 接続時に認識されなくなります。
- ・電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンを起動した場合、本製品の電源が数回切れる場合があります。これは PC 電源連動機能によって発生する現象ですので、問題はありません。

2.2 接続結果の確認

Windows 98（Second Edition 含む）をご使用の場合は、接続後にUSBドライバのインストールを行う必要があります。次ページ「2.3 USBドライバのインストール」へお進みください。

Windows XP, Me, 2000 の場合

接続後、本製品が自動的に認識されWindowsの標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のライティングソフトウェアをインストールしてCD-R/RW書き込みの準備をします。「2.4 ライティングソフトウェアのインストール」へお進みください。



Windows XPで表示
されるアイコン



Windows Me, 98, 2000で
表示されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4.2 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。



参考

転送モード識別表示ランプによって、認識されている転送モードを確認することができます。

- ・ 高速転送モード（SCSI、USB 2.0 High-Speed）
接続時：緑色
 - ・ 低速転送モード（USB 1.1 Full-Speed）
接続時：オレンジ色
-

2.3 USB ドライバのインストール

Windows 98 (Second Edition 含む) のみ

インストール手順

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が
選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



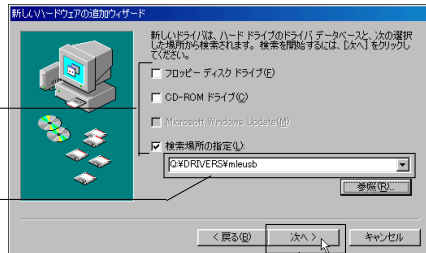
右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROM をセットしてください。(このときセットアップランチャーが起動した場合は閉じてください。)

1. 「検索場所の指定」だけがチェック
された状態にして

2. ここに、以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥mleusb

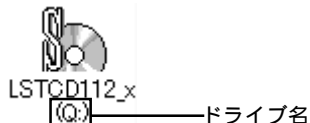
3. 「次へ」をクリック



Point ポイント

ここで「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「SoftwarePack」CD-ROM がセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上でUSBドライバのインストールは終了です。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、右のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のライティングソフトウェアをインストールしてCD-R/RW書き込みの準備をします。「2.4 ライティングソフトウェアのインストール」へお進みください。アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4.2 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。



2.4 ライティングソフトウェアのインストール

接続後、本製品はCD-ROMドライブ（リーダー）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、CD-R、CD-RWメディアへの書き込みはできません。

CD-R、CD-RWメディアへの書き込みには専用のソフトウェアを使用する必要があります。以下の手順で付属のCD-R/RWライティングソフトウェア「WinCDR Lite」をインストールしてください。

「WinCDR Lite」のインストール

インストール方法

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。自動的にセットアップランチャーが起動しますので「WinCDR Lite」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従いインストールを実行してください。

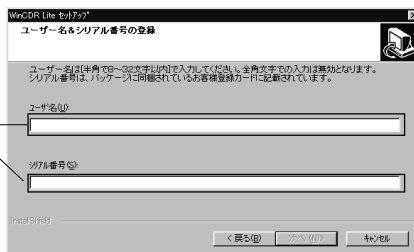
このボタンをクリック



CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、上の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「SoftwarePack」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザー名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザー名とシリアル番号
をそれぞれ入力します。



- ・ユーザー名は半角で8文字から32文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号（株式会社アブリックスのお客様登録カードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDR Lite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

WinCDR Lite のユーザーガイドはPDFファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDFファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「サポート」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

⚠️ ご注意

メディアへの書き込みを行う場合、必ず本製品を接続してから、ライティングソフトウェアを起動してください。ライティングソフトウェアを起動後に本製品を接続すると、ライティングソフトウェア側から本製品が認識されない場合があります。

第3章

Macintosh®環境での 接続とインストール

ここではMacintosh環境での本製品のライティングソフトウェアのインストールと接続の方法についてご説明いたします。



ご注意

USB 接続の場合、Mac OS 9.2.2 以前の環境では本製品を使用することができません。SCSI 接続にてご使用ください。

3.1 ライティングソフトウェアのインストール

Macintosh環境では本製品を接続する前に必ず以下の手順で付属のライティングソフトウェア「Toast Lite」をインストールしてください。

「Toast Lite」のインストール手順

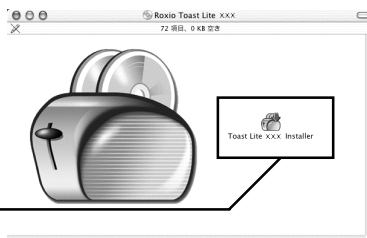
Macintosh のシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Software Pack」CD-ROM をセットしてください。

デスクトップにマウントされたCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。

右の画面が表示されます。

「Toast Lite x.x.x Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブル
クリック



x.x.x.の部分にはソフトウェアのバージョンが表示されます。

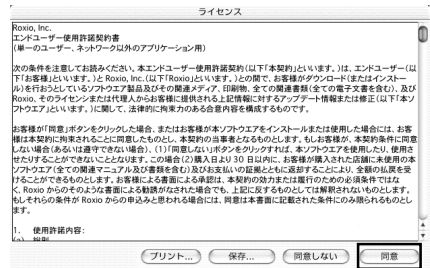
右の画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



「続ける」をクリック

このインストールプログラムは、Roxioのソフトウェアのインストール VISE で作成されました。

「使用権許諾契約書」の画面が表示されます。内容を良くご確認の上、「同意」ボタンをクリックしてください。



内容を確認し、同意する場合は「同意」をクリック

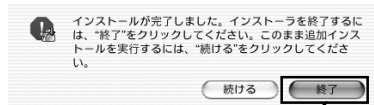
ここで「同意しない」をクリックするとインストールが中止されます。

右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」をクリック

インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。



「終了」をクリック

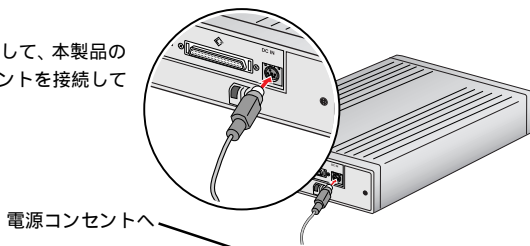
以上で「Toast Lite」のインストールは終了です。「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「3.2 接続の手順」へお進みください。

3.2 接続の手順

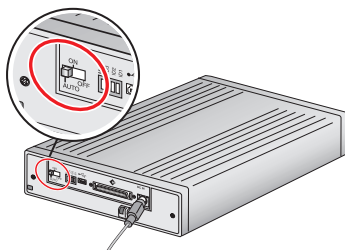
接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

接続の手順

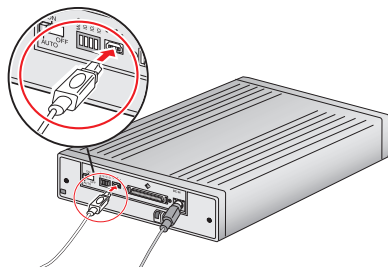
付属のACアダプタを使用して、本製品のDCコネクタと電源コンセントを接続してください。



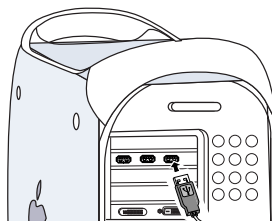
背面の電源スイッチを「AUTO」または「ON」に設定してください。「AUTO」に設定するとPC電源連動機能が有効になります。




USBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポート(シリーズA)を接続してください。以上で接続は終了です。次ページの注意事項もご確認ください。



本製品側
小さいほうのコネクタ



パソコン側
大きいほうのコネクタ

 **ご注意**

- ・本製品を SCSI インターフェース、USB インターフェースの両方へ同時に接続することはできません。
- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源を「AUTO」または「ON」にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ご使用のパソコンの仕様によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 High-Speed対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
USB 1.1ポートへ接続し使用する場合もなるべく本製品付属のものかUSB 2.0High-Speed対応ケーブルをご使用ください。
- ・本製品をUSB 2.0で使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0ポートへ接続してください。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合CD-R/CD-RWメディアへの書き込み・読み込み速度は最大8倍速相当となります。
- ・USBハブを介しての接続はおやめください。正常に書き込み、読み込みができなくなります。
- ・強制SCSIモードで使用していたときは、USB接続で使用する前に、必ずディップスイッチ4（強制SCSI）を「OFF」に戻しておいてください。「ON」のままではUSB接続時に認識されなくなります。
- ・電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンを起動した場合、本製品の電源が数回切れる場合があります。これはPC電源連動機能によって発生する現象ですので、問題はありません。

3 . 3 接続 / インストール結果の確認

ここまでの作業が終了したら、「3 . 1 ライティングソフトウェアのインストール」でインストールしたライティング・ソフトウェア「Toast Lite」を起動して、メニューバーの「レコーダ」から「レコーダ情報」を選択し、「レコーダ情報」ウィンドウで本製品が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、ポップアップメニューの一覧から本製品の型番を選択します。

本製品の型番は「BTC BCE5232IM」になります。

確認が完了したら、作業は終了です。これでToast Lite上からCD-R/CD-RWメディアの書き込みを行うことができる状態になりました。書き込み方法についてはToast Liteのマニュアルをご参照ください。

第4章では本製品を取り外す場合の注意事項を説明しますので、そちらも必ずお読みください。

第4章 補足事項

4.1 本製品の取り外しに関する注意事項

本製品はインターフェースとして USB を採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用している USB 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

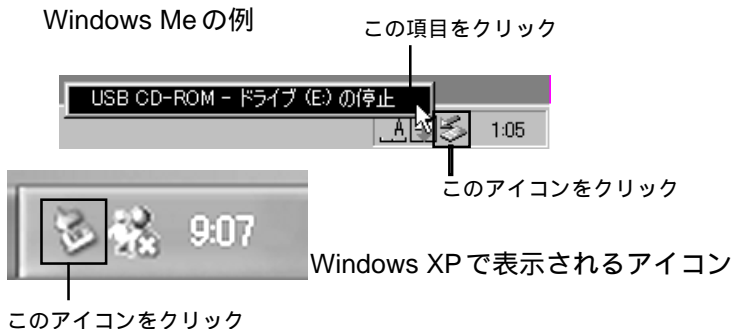
Macintosh 環境では、上記の点を確認し、デスクトップ上にメディアのアイコンがマウントされていなければ取り外し可能です。

WindowsXP, Me, 2000 の場合は、取り外しの際に、アンプラグと呼ばれる操作を行わなければなりません。下の手順をご参照ください。

Windows XP, Me, 2000 でのアンプラグ手順

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。（次ページ参照）



Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します。」

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

参考

電源スイッチを「AUTO」の位置にしていると、製品の取り外し（アンプラグ時、アンマウント時）に、本製品の電源が OFF になる場合があります。

4.2 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。
- ・USB 2.0インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用OSのバージョンに問題はありますか？
- ・ご使用のOS、パソコン本体は本製品の動作条件に適合していますか？「4.5 使用環境について」を参照してご確認ください。
- ・本製品背面のディップスイッチ4(強制SCSI)が「ON」になったままではありませんか？ USB接続時はディップスイッチ4(強制SCSI)は必ず「OFF」にしてください。
- ・BIOSのセットアップでUSBが「Disabled(無効)」となっていないかご確認ください。
- ・本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。本製品はハブ経由での接続では正しく動作しません。
- ・「4.3 デバイス上の登録名について」を参照し、本製品の項目が正しく登録されていることを確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ・ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

特定のCD-ROMにアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？ Windows環境では、Macintosh用のCD-ROM(HFSフォーマット)はアクセスできません。
- ・そのメディアはオーディオCDではありませんか？ 通常のCD-ROMのようにアクセスできない場合はメディアプレーヤーなどで再生してください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- ・「共通編：4 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

サスペンドモードから復帰できない。

- ・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

USB 2.0インターフェースに接続しているのにメディアの読み出し動作が遅い。

- ・接続に使用しているUSBケーブルは本製品付属のもの、またはUSB 2.0 High-Speed対応のものですか？
- ・USBハブ経由で本製品を接続していませんか？ 本製品はUSBハブを介して接続すると正常に動作しません。

Windows 98 環境で USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

WinCDR 上の、「レコーダ選択画面」で「仮想レコーダ」のみが表示され、レコーダ名が表示されない。

USB ドライバの再インストールを行う必要があります。

1. 「4.3 デバイス上の登録名について」を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることを確認してください。
2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
3. 枝分かれの部分に「? LCW USBDevice」と表示されていれば、それが誤まって認識されたドライバです。
4. 「? LCW USBDevice」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書を参照し、インストール手順に従って作業を行ってください。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「4.5 使用環境について」をご参照ください。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアメーカー各社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合がありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

ロキシオ・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<http://www.roxio.co.jp/>

4.3 デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
Windows XP Windows 2000	DVD/ CD- ROM ドライブ	BTC BCE5232IM
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows Me	CD-ROM	BTC BCE5232IM
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	記憶装置	USB CD- ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	BTC BCE5232IM
	ハードディスク コントローラ	Logitec USB Mass-Storage Class Miniport Driver
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	Logitec USB Mass-Storage Class WDM Driver

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、電源を切る前に「? その他のデバイス」の下に「? LCW USBDevice」という項目があるかどうかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に再度 USB ドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows Me、98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

4.4 Windows XP で直接書き込みを行う場合

Windows XP で、ライティングソフトウェアを使用しないで直接 CD-R/RW へ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CD イメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

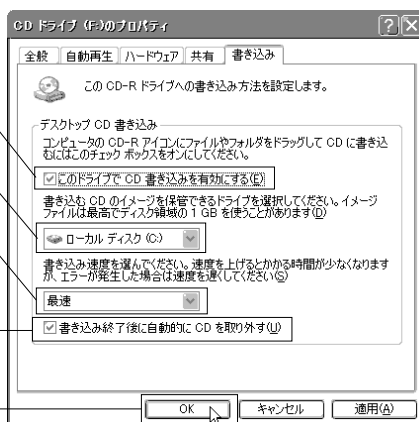
1.、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。

2. CD イメージの保管先を指定します。

3. 書き込み速度を選択します。

4. 必要に応じてチェックを入れます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

4.5 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

Windows 環境の場合

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USBポート(USBはUHCI準拠)を搭載している機種。(OHCI準拠のUSB1.1ポートは保証外とさせていただきます。)を搭載している機種。

CD-R/CD-RWメディアへ10倍速以上で書き込みを行う場合はパソコン本体にUSB 2.0インターフェースが装備されていること。

Celeron® 300MHz以上のCPUを搭載していること。

64MB以上のメモリを搭載していること。

Macintosh 環境の場合

アップルコンピュータ社

iMac

Power Mac G5

Power Mac G4

Power Macintosh G3 (Blue and White)

iBook

PowerBook G4

PowerBook (FireWire)

PowerBook G3 (Bronze Keyboard)



ご注意

- ・当社DOS/V対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーのDOS/Vパソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全てのDOS/Vパソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。

(*1)OADGは「PCオープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

- ・USB 2.0インターフェースカードを使用して本製品を使用する場合、CD-R/RW書き込み時には、その他のPCカードを同時に使用しないでください。
- ・本製品は日本電気株式会社PC-9800シリーズでは使用できません。

対応 OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。
また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.2 以降



参考

最新のOSについては、弊社ホームページをご参照ください。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52 倍速 /48 倍速

太陽誘電(株)「That's」

三井化学(株)

三菱化学(株)

48 倍速以上に対応したメディアが必要です。

40 倍速以下

太陽誘電(株)「That's」

三井化学(株)

三菱化学(株)

(株)リコー

< CD-RW メディア >

(株)リコー

三菱化学(株)

メディアに関する注意事項

CD-R/CD-RWメディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/CD-RWメディアをご使用ください。

CD-RWメディアには

「Ultra Speed + タイプ」

「Ultra Speed タイプ」

「High Speed タイプ」

「Multi Speed タイプ」

の4種類があります。使用するメディアのタイプにより、書き込み速度が異なります。必要な書き込み速度に対応したCD-RWメディアをご使用ください。詳細は8ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

